



<校舎建替工事に関して>

(1) 体育館裏への通り抜けについて

右上図のとおり、体育館裏への通り抜け道路が完成しました。
(↑) 学校へご用の際は、こちらの通路を通り抜けられることがありますが、くれぐれも**最徐行**をお願いします。また、渡り廊下の手前では、**必ず一旦停止**をお願いします。

また、これまで玄関前の運動場が保護者の皆様の駐車上となっていたが、今後は右下図のとおり旧幼稚園園庭前に駐車していただくようお願いいたします (○)。変更の理由は、子どもたちに運動場をできるだけ広く活用させたいことと、車両にボールなどが当たったり、接触したりする事故を未然に防止するためです。ご理解とご協力をお願いいたします。来校者用の駐車箇所については、裏面に平面図を掲載していますので確認ください。



(2) 工事中の騒音について



左写真のとおり、大型の機械を利用した工事が本格化しました。学校を建てる柱となるくい打ちが始まります。大きな機械で作業をするため、これまででない工事音がします。数ヶ月かかるようです。

授業中など、多少音の影響を受けるとは思いますが、可能な限り集中して取り組ませたいと思っています。

ただ個人的に音に敏感なお子様もいると思います。状況を見て、必要ならば個別に対応できればと思っています。ご相談ください。

□ 言葉にして伝えることの大切さ □ ある文献より…子どもとの関わりに関する内容です。

つらいとき、心配になったときに、イライラして相手にあたってしまうこと、子どもはもちろん、大人でもありますよね。また、本当はどうしたらよいかわからずに困っているのに、うまく言葉で表現できずにだまってしまうたり、「やりたくないから」「めんどうだから」と言ってしまうりする子も少なくありません。これでは自分が本当は困っているということが相手に伝わりません。適切なサポートをしてもらうためにも、気持ちを言葉にして相手（特に大人）に伝える練習が必要です。「〇〇ができないから（△△はわからないから）教えてください。（手伝ってください、助けてください…）」が言えるよう、少しずつ伝える力を伸ばしていくことが大切です。

○ こんなときはどうする？

Q 今までできたことを「できない」「やりたくない」と言うようになったのですが…

A 突然、「できない」「やりたくない」と子どもが言うと、「何で!？」と怒りたくなります。本来できるはずのことでも、少し不安になると子どもはできる気がなくて「できない」と表現することがあります。「できるかどうか心配なんだよね？大丈夫。いっしょに手伝うよ。」とフォローする事も大切です。

↑ お子様との会話でよくある言葉だと思えます。ぜひ引用してみられてはいかがでしょうか。

新しい来客用の駐車箇所について（保護者駐車場）

